

2011 年

4 月 21 日（木曜日） 森に光を運ぶ道 - 緑のふるさと林道「奥寄線」通り初め式 -

緑のふるさと林道「奥寄線」が、平成 8 年度より着手していただき 16 年の歳月を要して、本日、開通の運びとなり、通り初め式が行われました。京都府はじめ 2 市 2 町、地元三重区の皆さん、全ての関係者の皆さんのご尽力に心から感謝申し上げます。

この林道の完成により、丹後縦貫林道の京丹後の南側の新たな入り口となり、世屋高原、スイス村、碓高原を経て丹後町上野まで約 50km の縦貫林道が全線開通となりました。

京丹後市では、昨今、琴引浜の国の天然記念物への指定や山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク認定など、どちらかという海岸側に光があたっていたが、ようやく森に光を運ぶことができる。海を豊かに育んでいくことに貢献するのも森だし、地球の仲間である多様な生き物も生まれ、何より土砂崩れ、洪水防止などの治山治水、二酸化炭素の排出抑制、更には鳥獣被害の防止など、まちの安心安全に大きな働きをいただいているのも森林だ。

この道の利用により、林業の振興、森林資源の活用や観光への活用など地域の魅力や活力の向上につなげていくことはもちろんである。同時に、この道は、森林の大切な様々な機能への関心、森は私たちになくてはならない、気づかないうちにそっと守ってくれている、私たちのかけがえのない友人であり、教師であり、恩師であること、そして、木が大きくなるには長い年月がかかり、私たちが森の恵みをいただけるのは永く森が先人の皆さんの手入れも含め大自然に育まれてきたからであること、など、そんな多くの大切な気づきへと導いてくれる道にもなってくれればと心から願う。この道に多くの皆さんに親しんでいただいて、地域の振興はもとより、森林の尊さ、大切さに改めて気づかされ、森を守っていく取組みも広がっていく貴重な縁の道ともなりますよう、心から祈念しています。